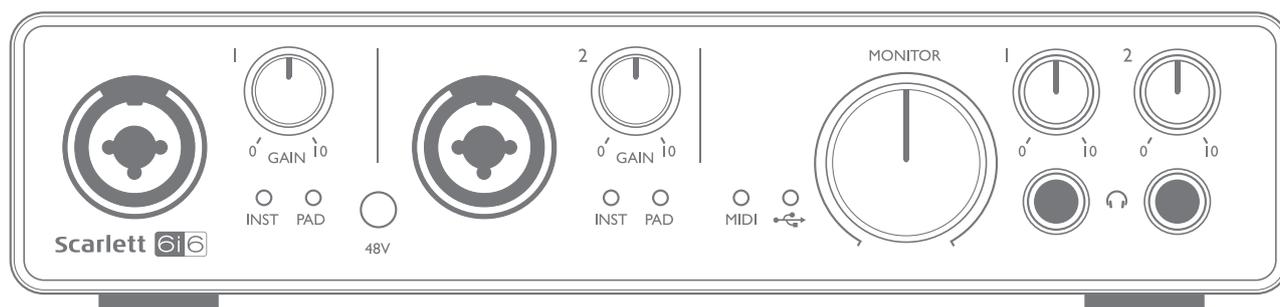


# Scarlett **6i6**

## ユーザーガイド



# 目次

<b>概要</b> .....	<b>3</b>
はじめに .....	3
特徴 .....	3
同梱物 .....	4
システム要件 .....	4
Mac OS .....	4
Windows .....	4
<b>さあ、始めましょう</b> .....	<b>5</b>
ソフトウェアのインストール .....	5
<b>各部の名称と特徴</b> .....	<b>6</b>
フロントパネル .....	6
リアパネル .....	7
Scarlett 6i6 の接続 .....	8
電源 .....	8
USB .....	8
Mac OS .....	8
Windows .....	8
DAWでのオーディオ・セットアップ .....	9
使用例 .....	11
マイクおよび楽器の接続 .....	11
低レイテンシーモニタリング .....	12
スピーカーへの接続 .....	14
<b>FOCUSRITE CONTROL</b> .....	<b>16</b>
<b>仕様</b> .....	<b>18</b>
性能仕様 .....	18
物理的特性と電気的特性 .....	20
<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>21</b>
<b>著作権表示と法定通知</b> .....	<b>21</b>

# 概要

## はじめに

第二世代のScarlett 6i6をご購入いただきありがとうございます。本製品は、Focusrite プロフェッショナル用オーディオインターフェイスシリーズの一つで、高品質 Focusrite アナログプリアンプが搭載されています。本製品の付属ソフトウェアの Focusrite Control を併用することで、お使いのコンピュータとの間で高音質のオーディオのルーティングを行うためのコンパクトかつ非常に用途の広いソリューションをご利用いただけます。また、一度 Focusrite Control を使用して設定を行えば、その他のタイプのレコーディング機器に対するスタンドアローンのインターフェイスとしてScarlett 6i6を使用することもできます。

一度製品登録を行えば、Focusrite Control およびその他複数のエキサイティングかつ便利なソフトウェアアプリケーションを無料でダウンロードすることができます。注意: Focusrite Control ユーザガイドも別に用意しております。弊社では、このガイドのダウンロードも推奨しています。

Scarlett インターフェイスの第二世代シリーズの開発に際しては、パフォーマンスと機能の両方が強化されました。最大 192kHz のサンプルレートに対応するほか、低ノイズ化やゲインの大幅な増加など様々な改善によりマイクプリアンプの性能が向上しました。ヘッドルームが追加されてインストゥルメント入力がアップグレードし、ゲインが大きなギターのパートもクリッピングせずに録音することができます。

第二世代の Scarlett インターフェイスは、新しい Focusrite Control ソフトウェアアプリケーションと互換性があります。これにより、さまざまなハードウェア機能のコントロール、モニターミックスのセットアップおよびルーティングの構成を行うことができます。Mac および Windows それぞれのための Focusrite Control インストーラーが用意されています。また、Mac にはドライバは必要ありません。Windows 版のインストーラーには、ドライバが含まれています。そのため、使用する際にはどちらの場合にしても Focusrite Control をインストールするだけで構いません。

このユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくためにハードウェアの詳細を説明しています。Scarlett 6i6 と付属ソフトウェアのすべての機能を十分に認識して頂くために、コンピューターベースのレコーディングが初めてのユーザーの方も既に経験のあるユーザーの方にも、全ての方に本ユーザーガイドを最後までよく読んで頂くことを推奨します。ユーザーガイドのセクションに必要な情報が記載されていない場合は、必ず<https://support.focusrite.com/>をご覧ください。このサイトには、テクニカルサポートによく寄せられる質問の一般的な回答が掲載されています。

## 特徴

Mac OS X または Windows の USB 端子に Scarlett 6i6 オーディオインターフェイスを接続することにより、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号および S/PDIF デジタルオーディオ信号を扱うことが可能です。入力部へ接続された信号は、お使いのオーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイドでは「DAW」と称します）へ最大 24ビット、192kHzの解像度でルーティングすることができます。同様に、DAW のモニターもしくはレコーディングされた出力信号は、本ユニットの出力部へ送ることが可能です。

出力端子では、使用したいアンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、オーディオミキサーあるいはその他のアナログまたはデジタルオーディオ機器に接続することができます。Scarlett 6i6 のすべての入出力は、レコーディングや再生のために直接 DAW との間でルーティングされますが、ユーザーの正確なニーズに合うように DAW 内部でルーティングを構成することができます。

付属ソフトウェアアプリケーションの Focusrite Control により、追加のルーティングとモニタリングオプションおよびサンプルレートや同期などのハードウェアのグローバル設定を制御できる機能を利用できます。

Scarlett 6i6 のすべての入力にはレコーディングの際に DAW ソフトウェアに直接ルーティングされますが、Focusrite Control を使用することで、これらの信号を機器内で出力へとルーティングすることもできます。これにより必要に応じて、お使いの DAW に信号が達する前に超低レイテンシーでオーディオ信号をモニターすることができます。

Scarlett 6i6 には、MIDI データを送信および受信するためのコネクタも備わっています。これにより、コンピューターの USB ポートと、ユーザーのシステムにあるその他の MIDI 機器との間の MIDI 「ハブ」として使用することができます。

## 同梱物

Scarlett 6i6 には以下の付属品があります。

- 以下で使用するバンドルコード\*：
  - Focusrite Control ([www.focusrite.com/downloads](http://www.focusrite.com/downloads)のURLからも入手可能)
  - Focusrite Red 2 & 3 Plug-in Suite
  - Softube Time and Tone バンドル
  - ProTools | First
  - Ableton Live Lite
  - LoopMasters サンプルライブラリ
  - Novation Bass station
  - Scarlett 6i6 および Focusrite Control 用の多言語対応ユーザーガイド
- USB ケーブル
- Getting Started Guide および重要な安全情報\*

\* ギフトボックス内側に記載された情報

## システム要件

### Mac OS

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートが搭載された Apple Macintosh とインターネット接続\*

OS : Mac OS X 10.10 (Yosemite) または OS X 10.11 (El Capitan) \*\*

### Windows

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートを搭載した Windows とインターネット接続\*

OS : Windows 7 (32 または 64 ビット)、8.1 および 10\*\*

\* オンラインの参考資料のダウンロードには、インターネット接続が必要となります。

\*\* システム要件は変更される場合があります。互換性の詳細については、以下のリンクを確認してください。

[www.focusrite.com/downloads/os](http://www.focusrite.com/downloads/os)

## さあ、始めましょう

**重要：**インターフェイスをコンピュータに接続する前に、Focusrite Control をインストールしてください。

**注意：**第二世代のScarlett 6i6 では、Mac または Windows のいずれにも別途 USB ドライバをインストールする必要はありません。Focusrite Control には、必要なドライバが付属しています。

### ソフトウェアのインストール

Scarlett 6i6 に必要なすべてのソフトウェアおよび複数の強力かつ便利な追加ツールは、Focusriteウェブサイト ([www.focusrite.com/register](http://www.focusrite.com/register)) からダウンロードできます。バンドルコードはScarlett 6i6 に付属のギフトボックス内に印刷されています。また、シリアル番号は本製品の下側に記載されています。これらの情報は、ウェブサイトのダウンロードエリアにアクセスする際に必要となります。本手順に従うことで、最新バージョンのソフトウェアを入手することができます。

**DOWNLOADING THE INCLUDED SOFTWARE**

To download the included software, you will need to register your Scarlett 6i6 at [focusrite.com/register](http://focusrite.com/register)

You will need the product serial number, found on the bottom of your 6i6 hardware

Once you have entered the serial number, you will be asked to enter your BUNDLE CODE, found below:

PRODUCT BUNDLE CODE

Pour obtenir des instructions en Français sur la façon de commencer, veuillez-vous rendre sur [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads)

Für eine Kurzanleitung zum schnellen Start in deutscher Sprache besuche bitte [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads)

Para la guía de inicio en Español, dirijase a [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads)

所有使用说明中文版,请上网站: [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads)

日本語での説明書はこちら: [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads)

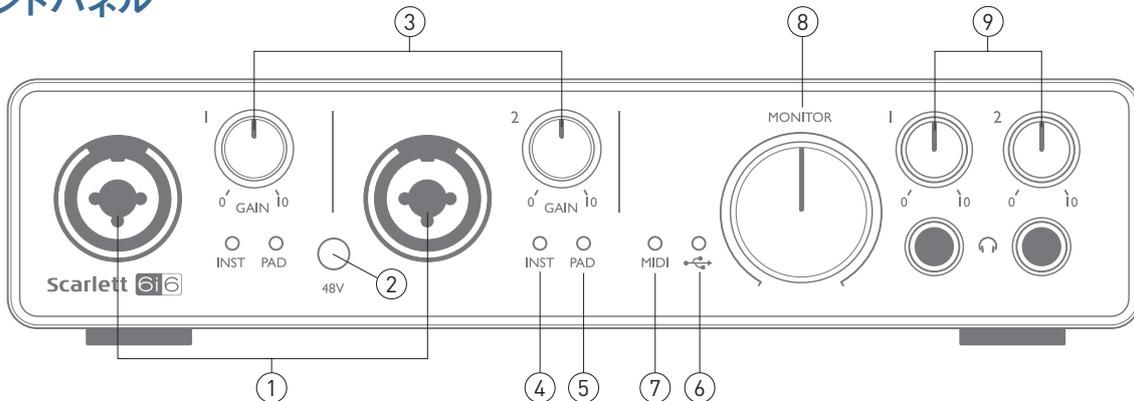
시작 방법에 관한 한국어 가이드는 [focusrite.com/downloads](http://focusrite.com/downloads) 에서 찾으실 수 있습니다.

1. 通常使用されるブラウザで、[www.focusrite.com/register](http://www.focusrite.com/register) にアクセスします。
2. 画面上の指示に従ってシリアル番号を入力し、次に、バンドルコード (XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX) を入力します。バンドルコードはギフトボックス内側に印刷されています。
3. すると「My Product」ページにアクセスできるようになり、ここで、Focusrite Control および他のソフトウェア製品をダウンロードできます。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。
4. お使いのコンピュータに適したバージョンの Focusrite Control (MacまたはWindows) をダウンロードしてインストールします。画面上のすべての指示に従います。
5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
6. 再起動後、付属のUSBケーブルで Scarlett 6i6 をお使いのコンピュータに接続します。

本ガイドには、2016年5月時点での正確な情報が記載されています。ただし、弊社はカスタマーサービスの向上に常に取り組んでいるため、この手順は変更されることがあります。内容に変更があると思われる場合は、[www.focusrite.com/get-started](http://www.focusrite.com/get-started) で最新の情報をご確認ください。

# 各部の名称と特徴

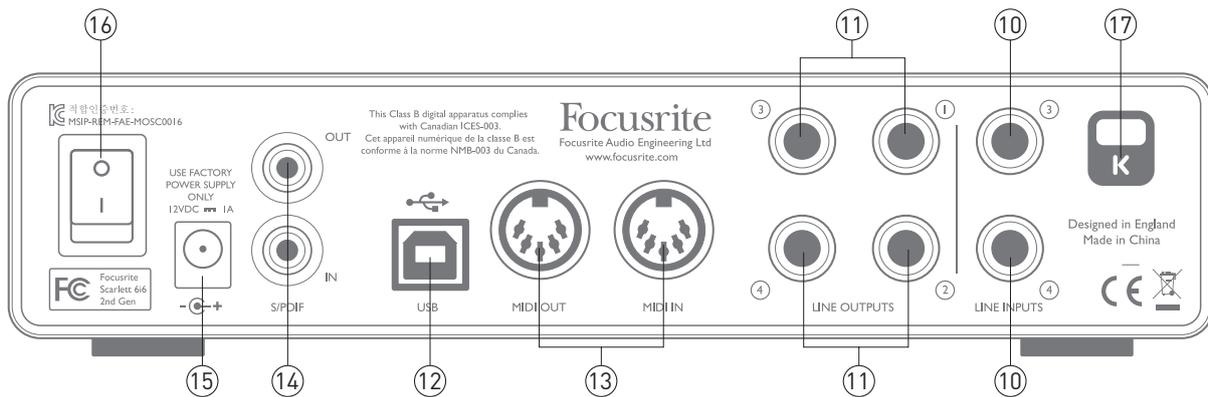
## フロントパネル



フロントパネルには、マイク、ラインおよび楽器信号用の入力コネクタ、入力ゲインおよびモニタリングコントロール、ならびにヘッドフォン端子が備わっています。

1. **Input 1 と 2** - XLR コンボタイプの入力ソケット - 必要に応じて XLR または 1/4 インチ (6.35mm) ジャックにマイク、クロフォン、楽器(ギターなど)またはラインインストゥルメントを接続します。楽器またはラインインストゥルメントには、1/4 インチ TRS (バランス) または TS (アンバランス) ジャックプラグのどちらか一方を使用することができます。
2. **48V** - スイッチを押すことで、コンボコネクタの XLR 端子 (マイク入力) で 48V ファンタム電源が使用可能になります。ファンタム電源がオンの場合、スイッチが点灯します。
3. **Gain 1** および **Gain 2** - Input 1 と 2 のそれぞれの信号の入力ゲインを調整します。ゲインコントロールには、信号レベルを確認するための同心円状の 2 色の LED 「リング」が備わっています。緑色は、最低 -24dBFS の入力レベル (「信号あり」) を示します。信号レベルが 0 dBFS に達すると、リングが赤に変わります。
4. **INST** - Input 1 と 2 のジャック接点の入力構成は、Focusrite Control のソフトウェアを使用して選択することができます。INST が選択されていると、緑色の LED が点灯します。INST が選択されている場合、ゲインレンジおよび入力インピーダンスが変更され (LINE に対して)、入力がアンバランスになります。これによりインストゥルメントの直接接続 (通常は 2 極 (TS) ジャックプラグによる) 用に最適化されます。INST がオフの時、入力はラインレベル信号の接続に適します。ラインレベル信号は、3 極 (TRS) ジャックによるバランスまたは 2 極 (TS) ジャックによるアンバランスのいずれかの形態で接続することができます。
5. **PAD** - 入力信号パスのそれぞれに 10dB パッドを施すことができます。これは Focusrite Control からソフトウェアで制御することが可能です。このパッドにより、入力ステージのヘッドルームが増加するので、マイクまたはラインレベル信号が強すぎる場合 (最小ゲインの位置であってもゲインランプが赤く点灯している場合)、マイクまたはラインレベルの信号を低減するためにこのパッドを使用しなければなりません。このパッドは楽器入力と使用することを目的としています。PAD が選択されている場合、LED が赤く点灯します。
6.  **USB LED** - 本ユニットが接続先のコンピュータによって認識されている時に点灯する緑の LED。
7. **MIDI LED** - MIDI IN ポートに MIDI データを受信しているときに緑色の LED が点灯します。
8. **MONITOR** - メインモニター出力レベルコントロール - リアパネルの出力 1 と 2 のレベルを調整します。
9.  - 1 つまたは 2 つのステレオヘッドフォンをボリュームコントロールの下での 2 つの 1/4 インチ (6.25mm) TRS ジャックソケットに接続します。ヘッドフォン出力は、Focusrite Control でアナログ出力 1 と 2 および 3 と 4 (ステレオペアとして) に現在ルーティングされている信号を常に伝送します。

## リアパネル



- LINE INPUTS 3 と 4** – バランス入力の ¼インチ (6.35mm) ジャックソケット。ラインレベルのソースを追加する際は¼インチ TRS (バランス) または TS (アンバランス) ジャックプラグを使用してこちらに接続します。
- LINE OUTPUT 1 ~ 4** – ¼インチ (6.35mm) ジャックソケット上の 4 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。出力 1 と 2 は通常、主要なモニタリングシステムを駆動するために使用されますが、これらの出力で利用できる信号は、Focusrite Control で設定されます。出力 3 と 4 は、一般的には追加のスピーカー (ミッドフィールド、ニアフィールドなど) やアウトボード FX プロセッサを駆動するために使用できます。
- USB 2.0** ポート – タイプ B コネクタ。Scarlett 6i6 を付属の USB ケーブルでお使いのコンピュータに接続します。
- MIDI IN** および **MIDI OUT** – 外部 MIDI 機器接続用の標準 5 ピン DIN ソケット。Scarlett 6i6 は「ブレイクアウト (およびブレイクイン) ボックス」として機能し、MIDI データをお使いのコンピュータと他の MIDI 機器に分配できるようにします。
- SPDIF IN** および **OUT** – 2 つのチャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF フォーマットで伝送し、Scarlett 6i6 との間で入出力を行うための 2 つのフォノ (RCA) ソケット。基本的には機器に対する入出力 5 と 6 として機能します。その他の全ての入出力と同様に、これらのコネクタにおける信号は Focusrite Control でルーティングすることができます。
- 外部 DC 電源入力 – 12V DC と 1A 定格の別の AC アダプタ (PSU) を介して Scarlett 6i6 に電源を供給します。注意: Scarlett 6i6 は、ホストコンピュータから USB ポートを介して電源を得ることはできません。
- 電源オン / オフスイッチ。
- K** (ケンジントンセキュリティロック) – 希望に応じて、お使いの Scarlett 6i6 に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、[www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspx](http://www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspx) をご覧ください。

## Scarlett 6i6 の接続

**重要** : Scarlett 6i6 をお使いのコンピューターに接続する前に、ページ 5 にある指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。これにより、確実にハードウェアが正しいドライバーを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

### 電源

Scarlett 6i6 は、外部からの 12V DC、1Aアダプターによって電源を供給する必要があります。適切なアダプターが本製品に付属しています。

**注意** : 付属の電源アダプターのみを使用することを強く推奨します。別のアダプターを使用した場合、ユニットが回復不能な損傷を受け、さらにユーザーの保証も無効となる恐れがあります。

### USB

Scarlett 6i6 には USB 2.0 ポートが（リアパネル上に）搭載されています。ソフトウェアのインストールが完了次第、付属の USB ケーブルで（推奨）お使いのコンピューターに Scarlett 6i6 を接続します。（注意 : Scarlett 6i6 は USB 2.0 対応機器であり、USB を接続するには、USB 2.0 対応ポートがコンピューターに搭載されている必要があります。USB 1.0/1.1 ポートでは正しく動作しません。ただし、一般的に USB 3.0 ポートは USB 2.0 機器に対応しています。）

### Mac OS:

お使いの OS は、コンピューターのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 6i6 に切り替えます。これを確認するには、**【システム環境設定】** → **【サウンド】** に移動し、入出力が **【Scarlett 6i6】** に設定されていることを確認します。Mac のセットアップオプション詳細については、**【アプリケーション】** → **【ユーティリティ】** → **【AUDIO MIDI設定】** の順に表示させて、参照してください。

### Windows:

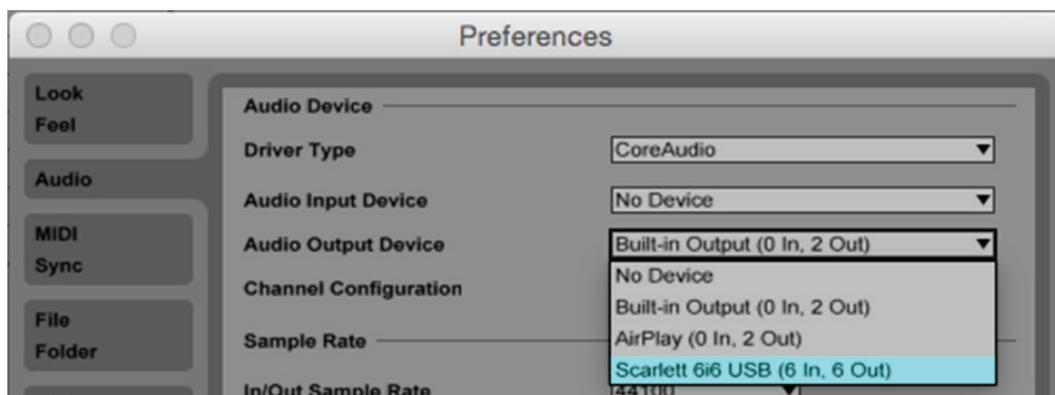
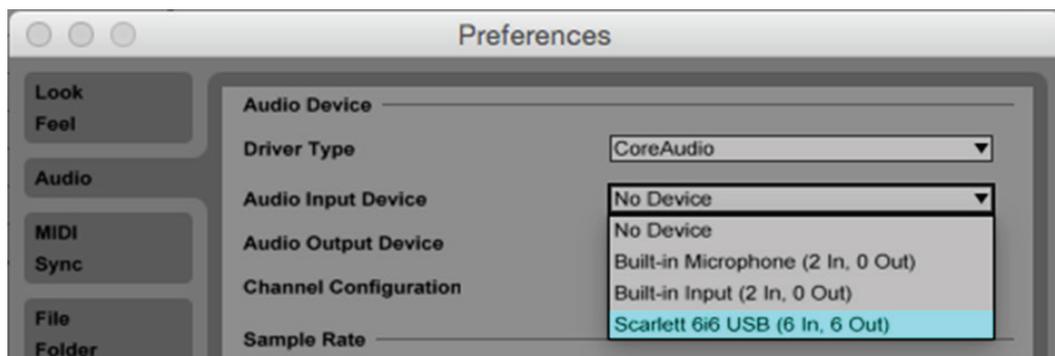
お使いの OS は、コンピューターのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 6i6 に切り替えます。確認するには、**【スタート】** → **【コントロールパネル】** → **【ハードウェアとサウンド】** → **【サウンド】** → **【オーディオデバイスの管理】** を表示して、**【再生】** および **【録音】** が **【Scarlett 6i6】** に設定されていることを確認します。

## DAWでのオーディオのセットアップ

Scarlett 6i6 は、ASIO または WDM 対応のすべての Windows ベースの DAW あるいは Core Audio を使用するすべての Mac ベースの DAW と互換性があります。Focusrite Control のインストールが完了し、ハードウェアを接続したら、いかなる DAW でも Scarlett 6i6 の使用を開始することができます。DAW アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされていない場合でも本製品を使用できるように、Pro Tools | First および Ableton Live Lite が付属しています。これらのソフトウェアは、オンラインでダウンロードしてアクティベーションすることで利用できるようになります。いずれかの DAW をインストールするには、ページ 5 に説明されるように登録済みの Focusrite の「My Product」から該当するインストーラファイルをダウンロードして保存し、画面上の指示に従って実行します。

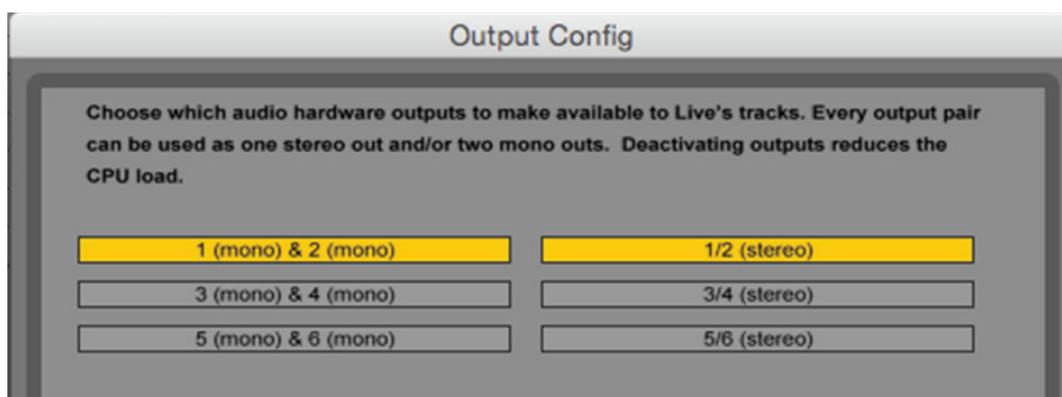
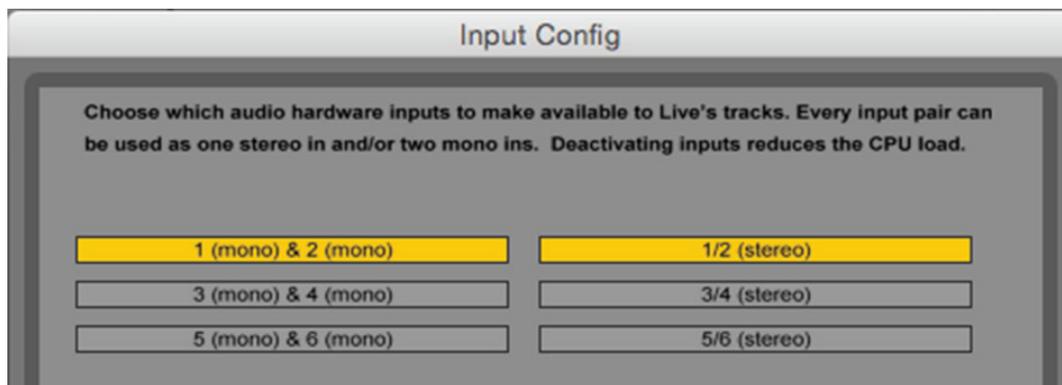
Ableton Live Lite および Pro Tools | First の操作説明は、このユーザーガイドには記載してありませんが、それぞれのアプリケーションには、ヘルプファイル一式が付属します。Ableton Live Lite を開始するためのビデオチュートリアルは[www.focusrite.com/getting-started](http://www.focusrite.com/getting-started)からアクセスできます。

注意：お使いのDAWは、デフォルトの入出力機器として Scarlett 6i6 を自動的に選択しないことがあります。その場合、お使いの DAW のオーディオ環境設定\*ページで（Mac の場合はScarlett 6i6、Windowsの場合は Focusrite USB 2.0 を選択）ドライバを手動で選択する必要があります。ASIO または Core Audio ドライバーを選択する場所がわからない場合は、お使いの DAW のドキュメンテーション（またはヘルプファイル）を参照してください。以下に、Ableton Live Lite 上での環境設定の例（Mac の場合）が表示されています。



\*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

Scarlett 6i6 がお使いの DAW で使用するオーディオデバイス\*として設定されると、6 つの入力と 12 の出力（Focusrite Control ソフトウェアにルーティングできる DAW 出力の最大数）全てがお使いの DAW の環境設定でオーディオ入出力に表示されます（Ableton Live Lite では、モノラル入力チャンネルは最大 4 つまで、モノラル出力チャンネルは最大 4 つまでに制限されていますのでご注意ください）。お使いの DAW によっては、使用する前に特定の入力または出力を有効にする必要があります。以下の 2 つの例では、Ableton Live Lite の環境設定で有効にされている 2 つの入力と 2 つの出力が示されています。

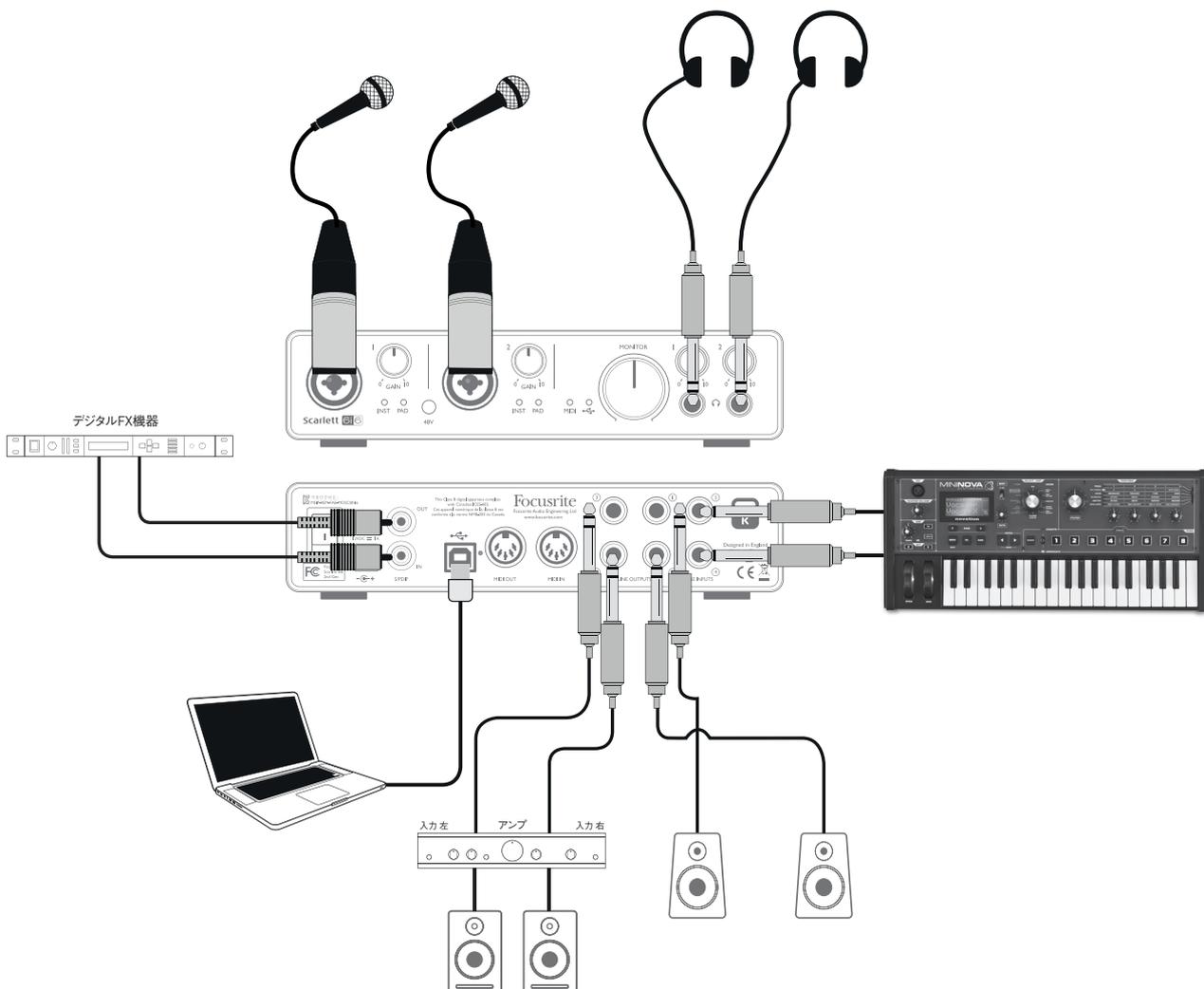


\*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

## 使用例

Scarlett 6i6 は、様々な異なるレコーディングとモニタリングアプリケーションとしての使用が可能です。一般的な構成をいくつか以下に示します。

### マイクおよび楽器の接続



このセットアップでは、Mac または Windows 上の DAW ソフトウェアで 2 人のシンガーとキーボードをレコーディングするための構成を示しています。この場合、Input 1 と 2 は 2 人のボーカルに使用し、Input 3 と 4 はキーボードのステレオ出力を受信します。これらのソースは DAW 上の別のトラックにそれぞれ記録されます。レコーディング時に、キーボードと 2 人のボーカルのミックス（さらに DAW にすでにレコーディングされたトラックの再生）をヘッドフォンでモニターすることができます。また、ボーカルが別の部屋にいる場合には、2 組のラウドスピーカーのうちの 1 組を使用することができます。ミックス自体は Focusrite Control で構成することが可能です。

フロントパネルの入力端子は XLR コンボタイプで、XLR オスコネクタ（マイクケーブルの片方の端に付いています）または 1/4 インチ（6.35mm）ジャックプラグのどちらかを使用できます。Scarlett 6i6 には「マイク/ライン」スイッチが備わっていませんのでご注意ください。Focusrite のプリアンプ部では、XLR が入力端子に接続されると自動的にマイク用に、またジャックプラグが接続されると自動的にラインまたは楽器用に構成されます。楽器（ギターなど）が通常の 2 極（TS）ギタージャックで接続されている場合、**INST** を Focusrite Control（**Device Settings** ページ）で選択し、3 極（TRS）ジャックで外部オーディオミキサーのバランス出力などのラインレベルのソースが接続されている場合には、**LINE** を選択します。また、コンボコネクタは両タイプのジャックプラグに対応しています。

コンデンサーマイクを使用している場合は、**48V** ボタンを押してファンタム電源をマイクに供給します。機種によってはファンタム電源を加えると損傷する恐れがあるため、対応していないマイクを使用される場合にはこのボタンを押さないことを推奨します。**48V** ボタンを使用すると、ファンタム電源が両方の入力で有効になります。そのため、コンデンサーマイクとその他のマイクを同時に使用している場合、その他のマイクの方の仕様を最初に確認して、そのマイクがファンタム電源に対応しているものか確かめる必要があります。

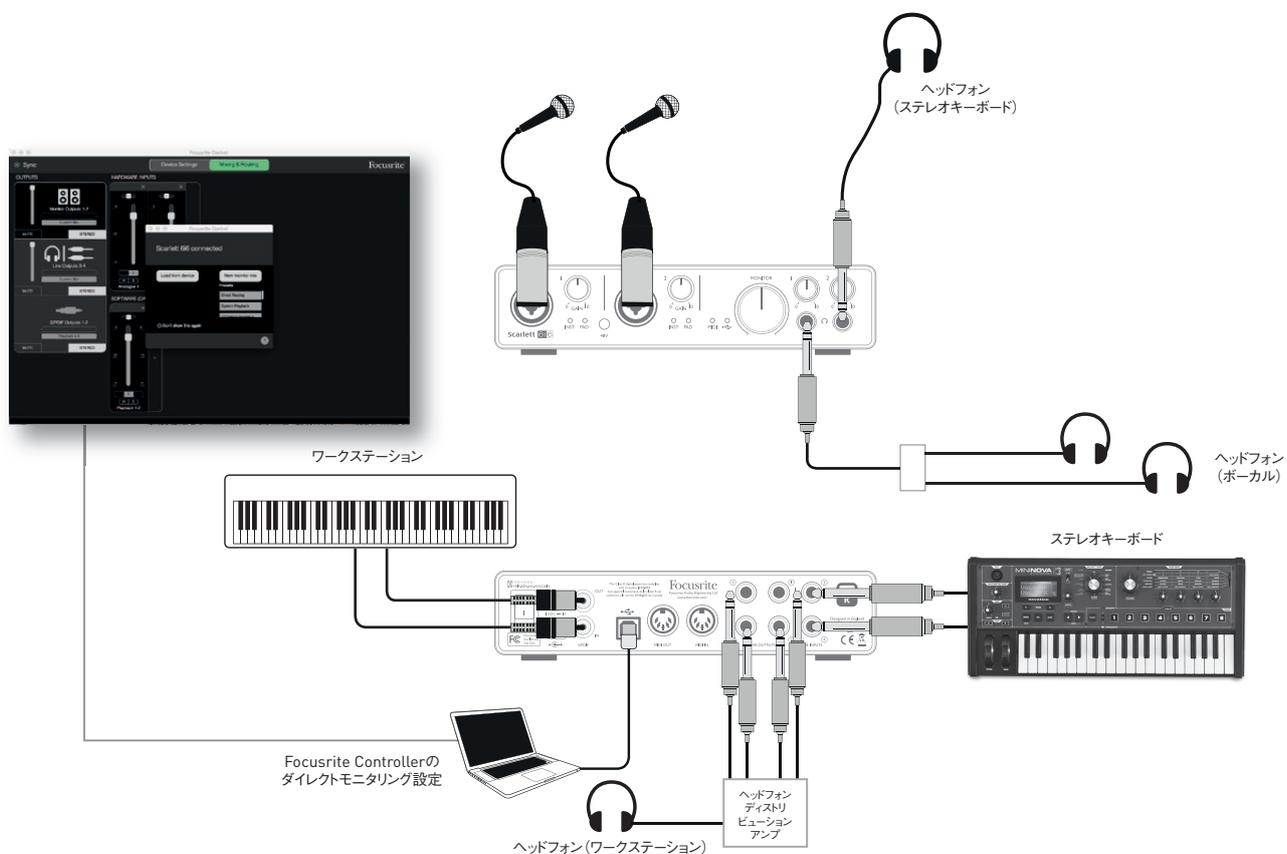
Scarlett 6i6 の各チャンネルには **PAD** 機能が搭載されており、Focusrite Control（**Device Setting** ページ）で選択することができます。Pad に切り替えると入力感度が 10dB 下がるため、ラインレベルのソースから入力を供給している際に出力が大きすぎる場合、役に立つ可能性があります。

## 低レイテンシーモニタリング

デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し、オーディオインターフェース経由で再度戻ってくるまでにかかる時間です。レイテンシーは、シンプルな構成のレコーディング環境では問題になりませんが、特定の状況では入力信号をモニタリングしながらレコーディングを行いたい演奏者にとって障害となる可能性があります。これは、お使いの DAW レコーディングバッファのサイズを増やす必要がある場合に当てはまることもあり、多数の DAW トラック、ソフトウェア楽器、FX プラグインを使用して大きいサイズのプロジェクトでオーバーダブを行う際に必要となる場合があります。バッファの設定が低すぎる場合、オーディオの突然のクリックやポップ、またはお使いの DAW（多くの DAW では現状の CPU の使用量が表示されます）で CPU に異常な負荷がかかってしまうことが多々あります。こうした現象が Mac で見られる場合、DAW アプリケーション自体でバッファサイズを上げることができますが、Windows では、通常 DAW の環境設定からアクセスできます。

Scarlett 6i6 を Focusrite Control と一緒にしようすれば、低レイテンシーでのモニタリングが可能となり、この問題を解決できます。Scarlett 6i6 のヘッドフォン出力とライン出力に入力信号を直接ルーティングすることができるため、演奏者はコンピュータの再生と一緒に、超低レイテンシー、つまり「リアルタイム」で効果的に自身の音声を聞くことができます。コンピュータへの入力信号は、この設定によっていかなる影響も受けません。ただしこの場合、ソフトウェアプラグインを通してライブの楽器に追加されている最中のエフェクトは、録音されてもヘッドフォンでは聞くことができなくなりますのでご注意ください。

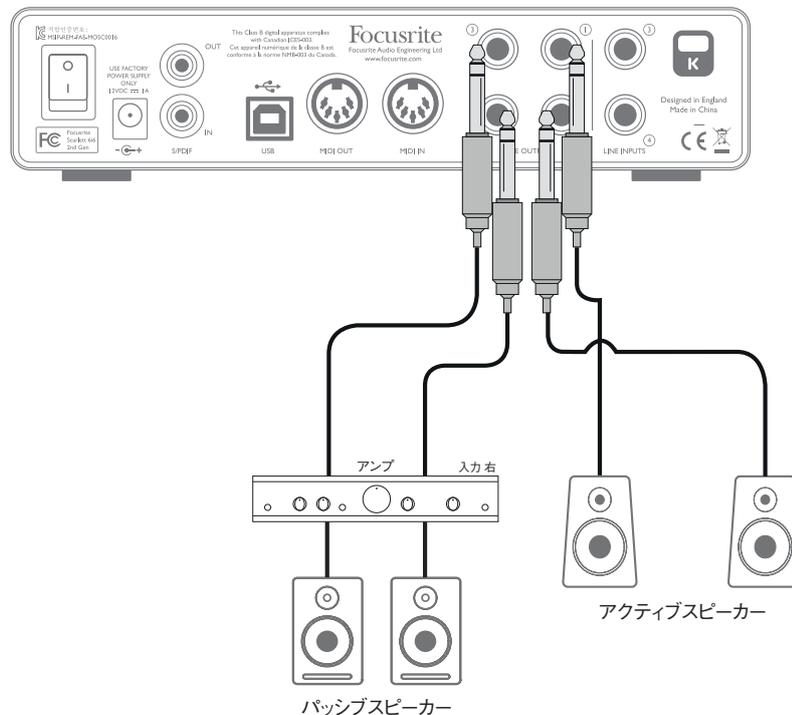
下記の例では、各バンドメンバーが自身のモニターミックスを受け取っています。Focusrite Control では、最大 4 つの個別のモノラルミックス（または 2 つのステレオ）を設定することができます。これらのミックスには、すでにレコーディングした DAW 上のトラックおよび現在の入力信号を含めることができます。



ダイレクトモニタリングを使用する際は、お使いの DAW ソフトウェアが入力（現在レコーディング中のもの）を出力ヘルディングするように設定されていないことを確認してください。ルーティングするように設定されている場合は、一つの信号がエコーとして遅れて聞こえるので、ミュージシャンには自身の音声「2回」聞こえてしまいます。

## スピーカーへの接続

リアパネル上の1/4インチジャック出力は、通常、モニタリングスピーカーを駆動するために使用されます。アンプ内蔵型（アクティブ）モニタースピーカーには内蔵アンプが搭載されているため、直接接続することができます。パッシブラウドスピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力とアンプの入力端子を接続しなければなりません。



全てのライン出力コネクタは3極（TRS）1/4インチ（6.35mm）ジャックソケットであり、バランス出力です。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワーモニターには、おそらくフォノ（RCA）ソケット上またはコンピュータに直接接続するための3.5mm 3極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力があります。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

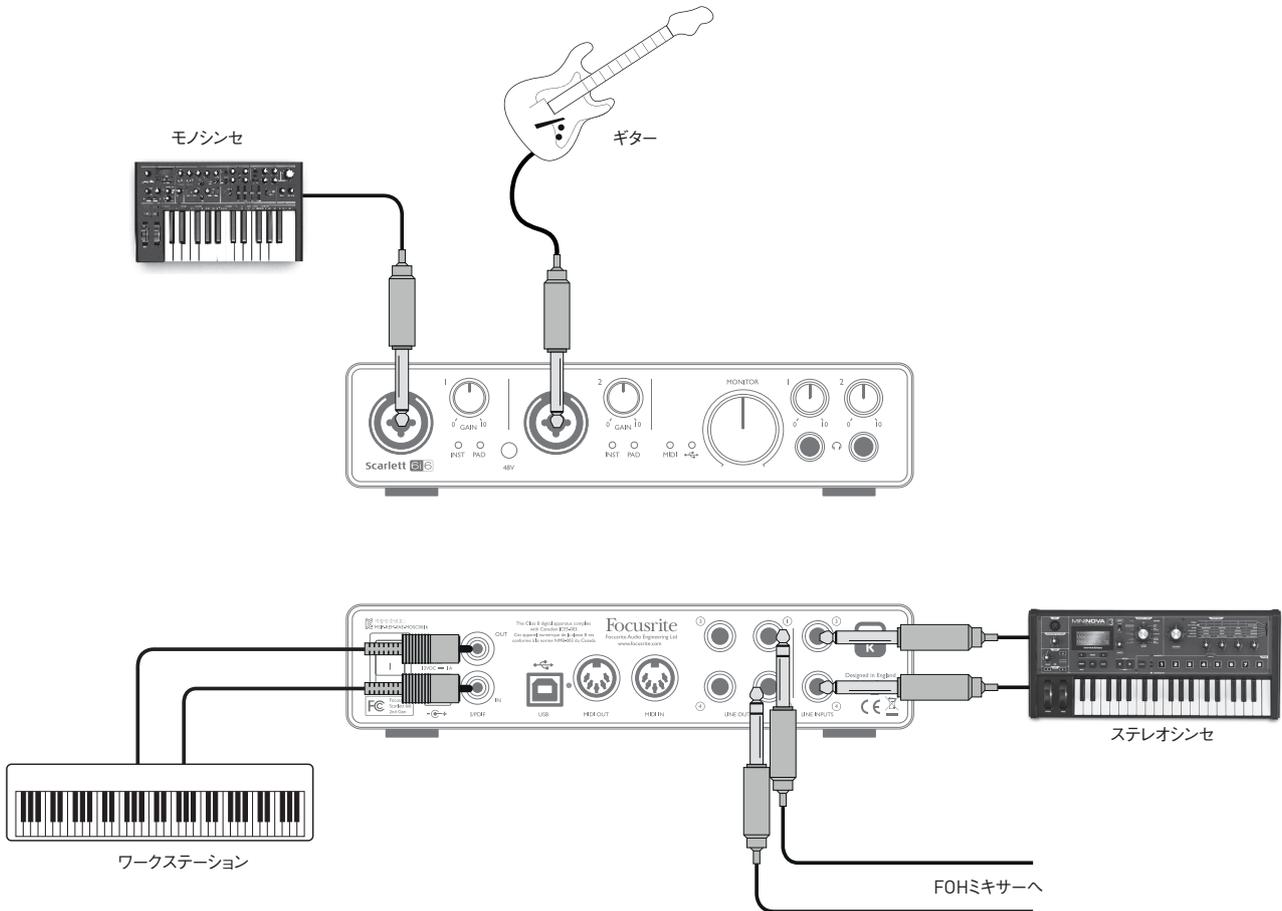
プロフェッショナル用アクティブモニターおよびプロフェッショナル用パワーアンプには一般的にバランス入力が備わっています。

ミキシングを行う際は、2組のスピーカー（ミッドフィールド、ニアフィールドなど）を出力1/2と3/4に接続し、Focusrite Controlを使用して別々の出力にルーティングし、それぞれのスピーカーで個別にミックスを行うことが可能です。

**注意：**マイクと同時にラウドスピーカーがアクティブになっている場合、フィードバックループが生じる可能性があります。レコーディング中は必ずモニタリング用のスピーカーをオフにし（または音量を下げ）、オーバーダビング中はヘッドフォンを使用することを推奨します。

## スタンドアローンのミキサーとしての Scarlett 6i6 の使用

Scarlett 6i6 には、Focusrite Control で設定したミックスの構成を本体に保存できる機能があります。コンピューターを使用してステージ上のサブミキサーとして構成を行い、その設定を本体に保存することができます。これにより、シンプルなローカルミキサーとして Scarlett 6i6 を使用して複数の楽器の全体的なミックスを制御することができます。



ここで示されている例では、1本のギターと2台のステレオキーボードと1台のモノラルキーボードが Scarlett 6i6 の6つの入力に接続されています。出力1と2は、メインのPAシステムに接続されています。演奏者は、Focusrite Control でラフミックスをセットアップしてからフロントパネルで2つのモノラルのソースレベルをステレオのソースに対して調節することができます。

# FOCUSRITE CONTROL

Focusrite Control ソフトウェアを使用すれば、オーディオ出力へのすべてのオーディオ信号の柔軟なミキシングおよびルーティング、さらに出力モニターレベルの制御が可能になります。サンプルレートやデジタル同期の設定も Focusrite Control で行えます。

**注意：** Focusrite Control はその他の Focusrite ハードウェアインターフェースとも使用することができます。インターフェースをお使いのコンピュータに接続して Focusrite Control を起動すると、そのインターフェースが自動的に検出され、入出力数およびその他の機能に適するよう構成されたソフトウェアをハードウェア上で使用できるようになります。

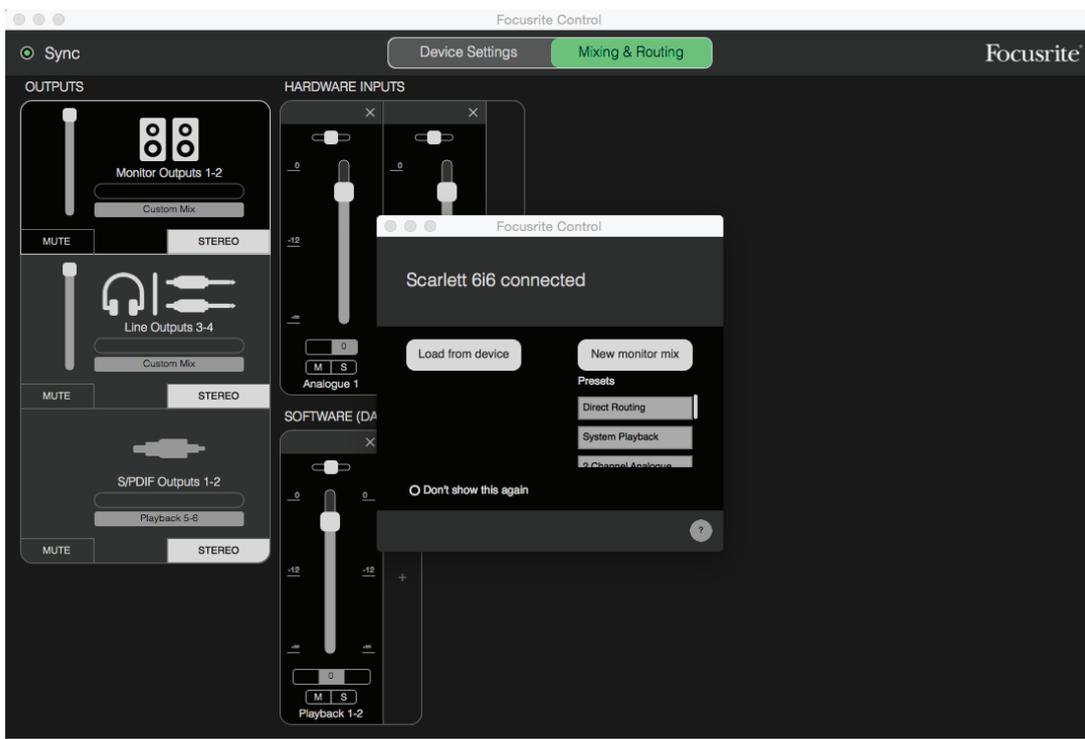
**重要：** 一度オンライン登録を完了すると、別途 Focusrite Control ユーザガイドをダウンロードすることができます。このガイドには、アプリケーションの例とともに、Focusrite Control の使用方法についての詳細な説明が記載されています。

以下の手順に従って、Focusrite Control を開きます。



お使いのコンピュータに Focusrite Control をインストールすると、Dock またはデスクトップ上に FC アイコンが配置されます。このアイコンをクリックして Focusrite Control を起動します。

お使いの Scarlett インターフェースが USB ケーブルでコンピュータに接続されていることが認識されると、Focusrite Control GUI (グラフィカルユーザインターフェイス) が以下のように表示されます (Mac の場合)。



以下の表では、**Direct Routing** のプリセットが Focusrite Control で選択されている場合のチャンネルルーティングが示されています。ページ 16 の画像を参照してください。

CH NO.	入力	出力
1	Input 1	Output 1
2	Input 2	Output 2
3	Input 3	Output 3
4	Input 4	Output 4
5	S/PDIF 1	S/PDIF 1
6	S/PDIF 2	S/PDIF 2

詳細については、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

# 仕様

## 性能仕様

構成	
入力	6: アナログ (4), S/PDIF (2)
出力	6: アナログ (4), S/PDIF (2)
ミキサー	完全に割り当て可能な 6 イン/12 アウトソフトウェアミキサー (Focusrite Control)
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz, 48kHz, 88.2kHz, 96kHz, 176.4kHzおよび 192kHz
クロックジッタ	<250ps
マイク入力	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB (A特性)
THD+N	< 0.002%
ノイズ EIN	-127dBu
最大入力レベル	+8.5dBu (パッドなし)
ゲインレンジ	50dB
ライン入力 1 と 2	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB (A特性)
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+22dB
ゲインレンジ	50dB
ライン入力 3 と 4	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz、+0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB (A特性)
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+16dB

<b>楽器入力</b>	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB (A特性)
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+12dBu
ゲインレンジ	50dB
<b>ライン入力 1 ~ 4</b>	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz, +/-0.5dB
ダイナミックレンジ	108dB (A特性)
THD+N	< 0.001%
最大出力レベル (0dBFS)	+16dBu, バランス
<b>ヘッドフォン出力</b>	
周波数特性	20Hz ~ 20kHz, +/-0.5dB
ダイナミックレンジ	108dB (A特性)
THD+N	< 0.001%
最大出力レベル (0dBFS)	+13dBu, バランス

## 物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1 と 2	
コネクタ	XLRコンボタイプ：フロントパネル上のMic/Line/Inst
マイク/ライン切替	自動
ライン/楽器切替	Focusrite Control ソフトウェア使用
ファンタム電源	入力 1 と 2 用の共有 +48V ファンタム電源スイッチ
アナログ入力 3 と 4	
コネクタ	リアパネルのバランス1/4インチ TRS ジャック x 2
アナログ出力 1 ~ 4	
コネクタ	リアパネルのバランス1/4インチ TRS ジャック x 4
ステレオヘッドフォン出力	フロントパネルの1/4インチ TRS ジャック x 2
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
S/PDIF 入出力	フォノ (RCA) x 2
USB	USB 2.0 タイプ B コネクタ x 1
MIDI 入出力	5 ピン DIN ソケット x 2
重量および寸法	
幅 x 奥行 x 高さ	195mm x 50mm x 212mm 7.68 インチ x 1.97 インチ x 8.35 インチ
重量	1.4kg 3.09 ポンド

## トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。  
<https://support.focusrite.com/hc/en-gb/requests/new> このサイトでは、多数のトラブルシューティング例を説明する記事が掲載されています。

## 著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Scarlett 6i6 は Focusrite Audio Engineering Ltd. の商標です。

その他すべての商標および商品名は各所有者の財産です。

2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.